



鳩ヶ谷市・編入合併のラブコール・川口市の対応は!?

鳩ヶ谷市・合併推進に関する基本方針(一部抜粋・要約等)

趣旨	<ul style="list-style-type: none">行財政基盤の強化を図っていくことが求められている。地勢的な状況から、鳩ヶ谷市民は日常的に通勤・通学はもとより商業施設や医療機関等、鳩ヶ谷市にはない高次都市機能の恩恵を川口市に依存している。3市合併(川口・蕨・鳩ヶ谷)の破綻により、川口市との信頼関係を大きく損なったままである。鳩ヶ谷市民の強い意向を踏まえるとともに、地勢的条件や社会情勢を勘案し、川口市との合併こそが早急な市民サービスの向上に繋がるものと判断している。平成19年12月に両市間の抱える広域行政課題のうち、し尿処理施設が解決への方向に至り、現在それが基点となって川口市との信頼関係も徐々に改善されてきている。鳩ヶ谷市の再重要施策である「川口市との合併の早期実現」に向けて、その基本的な考え方を示す。
合併に関する基本事項	
合併関係自治体	合併関係自治体は、鳩ヶ谷市と川口市の『2市合併』とする。
合併の方式	合併の方式は、協議を前提としつつ、川口市への『編入合併』とする。
法人存続団体	法人存続団体は、市名や市役所の所在地等の協定項目の基本事項も川口市とする。
合併の時期	合併の時期は「市町村の合併の特例等に関する法律」が失効する『平成22年3月31日』を目安とする。

■ 鳩ヶ谷市・合併推進に関する基本方針発表!!

鳩ヶ谷市は川口市との合併に関して、上記の『鳩ヶ谷市合併推進に関する基本方針』(6月25日・庁議決定)を公表しています。

川口市との早期合併を公約に掲げ、当選した木下鳩ヶ谷市長でしたが、いよいよ今年度中に川口市へ合併協議(川口市への吸収合併)を申し入れる見込みになりました。

■ 市町村合併の現状

国が合併を促進し、合併特例債などが一部で大きな問題となった平成の大合併により、全国の市町村数は以下のとおりになっています。

- 3,232(H11/3/31・市670町1,994村568)
- 1,784(H20/11/1予定・市783町808村193)

県のHPによると現在、県下では久喜市・菫蒲町・栗橋町・鷲宮町、蓮田市・白岡町の二つの合併協議会が設置され、いずれも「市町村の合併の特例等に関する法律」(合併新法)が失効する、『平成22年3月31日』を期限とする合併を目指しています。

一方、県の『埼玉県市町村合併推進構想』では、構想対象市町村の組合せとして、川口・蕨・戸田・鳩ヶ谷市の枠組みがあり、中でも川口・鳩ヶ谷市が優先して取り組むことが適当であるとされています。

■ 選択肢としての合併しない宣言

川口・鳩ヶ谷市の財政指数の比較は、以下のとおりになります(財政指数比較・平成18年度)

財政力指数	川口 1.005	鳩ヶ谷 0.777
実質収支比率	川口 9.9	鳩ヶ谷 7.8
実質公債費比率	川口 15.4	鳩ヶ谷 16.1
経常収支比率	川口 86.6	鳩ヶ谷 88.4

平成の大合併の中、『合併しない宣言』で有名になった福島県山祭町のような選択も含め、川口・鳩ヶ谷の両市民ために合併が必要であるのか、慎重な検討が望まれます。

※実質公債費比率:平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3カ年平均

■ 来年5月の川口市長選挙での争点

大きな争点がないと言われている、来年5月の川口市長選挙ですが、各候補者が鳩ヶ谷市との合併に関して、マニフェスト(公約)に何を記載するのか、注目していくことが必要です。

■ 編集後記

今年の5~7月まで新座市長選挙・富士見市議補欠選挙のボランティア応援のため、当紙面の発行・配布が遅延しており、失礼しました。

当紙面の関連資料は、以下のブログ(2008年8月9日付)に公開しております(『ふじたみつぐ』で検索)。

<http://m-fujita.cocolog-nifty.com/>

また、今回の紙面から文字の大きさ等を変更し、読みやすい紙面作りを実施しました。

※本人とボランティアによる手配りでお届けしています。

ふじた みつぐ ■ 経歴等 ■

昭和45年6月生まれ・38歳/川口市川口在住時、飯仲小学校/西中学校/県立蕨高校/埼玉大学教育学部を卒業。事務機器メーカー元社員。川口市の政務調査費に関する問題等への取り組みを通じて急遽、平成19年4月の川口市議会選挙へ立候補。政党・各種団体からの支援を受けず、候補者名を連呼しない選挙カーを自ら運転。選挙活動期間の1週間のみで715票を獲得。残念ながら落選。

■ 発行・連絡先 ■

フルマークス/〒332-0023 川口市飯塚1-4-32-A202
電話(ファクス共用) 048-437-0924